

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【公開番号】特開2015-210506(P2015-210506A)

【公開日】平成27年11月24日(2015.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-073

【出願番号】特願2014-94167(P2014-94167)

【国際特許分類】

G 02 C 13/00 (2006.01)

G 01 B 11/26 (2006.01)

A 61 B 3/10 (2006.01)

【F I】

G 02 C 13/00

G 01 B 11/26 H

A 61 B 3/10 W

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月24日(2017.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡フレームを装用した状態の被検者の顔を撮影するための眼鏡装用パラメータ測定用撮影装置であって、

前記眼鏡フレームを含む被検者の顔を正面方向又は下方から撮影するための第1撮像手段と、前記眼鏡フレームを含む前記被検者の顔を正面方向とは異なる方向から撮影するための第2撮像手段と、を有する撮像光学系と、

前記眼鏡フレームの水平方向の振れ角を調整できるように、前記第2撮像手段によって撮影された被検者の顔の画像に基づいて前記撮像光学系と前記被検者との位置合わせが可能な位置合わせ手段と、

を備えることを特徴とする眼鏡装用パラメータ測定用撮影装置。

【請求項2】

前記位置合わせ手段は、

表示部の表示を制御し、前記眼鏡フレームの水平方向における振れ角を調整するための位置合わせマークを、前記第2撮像手段によって撮影された画像上に重畠表示する表示制御手段と、を備えることを特徴とする請求項1の眼鏡装用パラメータ測定用撮影装置。

【請求項3】

前記第2撮像手段は、前記眼鏡フレームの左右の上端を含む前記被検者の顔を上方向から撮影することを特徴とする請求項1または2の眼鏡装用パラメータ測定用撮影装置。

【請求項4】

眼鏡フレームを装用した状態の被検者の顔を撮影するための眼鏡装用パラメータ測定用撮影装置において用いられる眼鏡装用パラメータ測定用撮影プログラムであって、

前記眼鏡装用パラメータ測定用撮影装置のプロセッサによって実行されることで、

前記眼鏡フレームを含む前記被検者の顔を正面方向又は下方から撮影するための第1撮像ステップと、

前記眼鏡フレームを含む前記被検者の顔を正面方向とは異なる方向から撮影する第2撮

影ステップと、

前記眼鏡フレームの水平方向の振れ角を調整できるように、前記第2撮影ステップにおいて撮影された被検者の顔の画像に基づいて前記撮影光学系と前記被検者との位置合わせをする位置合わせステップと、

を前記眼鏡装用パラメータ測定用撮影装置に実行させるための眼鏡装用パラメータ測定用撮影プログラム。

—